

2016年A B A C第2回ポートモレスビー会議ニュースリリース【仮訳】

**A B A Cは、経済成長の機運を維持するために  
構造改革を優先するよう、A P E Cに要請する**

ポートモレスビー

2016年4月27日

「グローバル経済が不安定な状況にある現在、貿易・投資の自由化拡大と構造改革への着手とが、アジア太平洋地域において、より安定した経済の成長軌道を実現するための鍵である。」これは、来月A P E C貿易担当大臣がペルーのアレキパに集まる際に、A P E Cビジネス諮問委員会（A B A C : APEC Business Advisory Council）が貿易大臣に対して伝える主要なメッセージである。

「構造改革は、良きガバナンスを促進させる。それは貿易・投資の流れを高める健全な政策と規制につながり、サービス分野のような新たな成長の源泉を活性化し、生産性を向上させてイノベーションを推進する。」と2016年A B A C議長のアラン・ラフォー氏は語った。

「規制改革を通して国内障壁の除去に取り組むことは、国境における障壁を引き下げようというわれわれの努力を後押しする。そうした取り組みは、大企業の利益となるだけでなく、零細・中小企業（MSME : micro, small and medium enterprises）の助けにもなる。」

「われわれは、質が高く、包括的で、野心的なアジア太平洋自由貿易圏（F T A A P : Free Trade Area of the Asia-Pacific）が、国境の両側において必要な改革を実現する効果的な手段になると考える。そのため、環太平洋パートナーシップ（T P P : Trans Pacific Partnership）協定の批准や、東アジア地域包括的経済連携（R C E P : Regional Comprehensive Economic Partnership）の交渉妥結といった、F T A A Pへの道筋に向けた取り組みを加速するよう、関係大臣に要請する。」とラフォー氏は述べた。「ビジネス界はまた、現在A P E Cによって行われているF T A A P実現に向けた共同の戦略的研究に対して、今後も引き続き詳細にわたり意見を述べる。最終的にF T A A Pがビジネス界に深く関わりを持ち、絶えず変化する環境に対応できるものとなることを、特に求めたい。」

A B A Cはその設立以来、起業家精神と雇用を牽引するMSMEの役割を非常に重視している。A B A Cは、MSMEによるグローバル市場、新技術およびファイナンスへのアクセスが促進されるよう、A P E Cがより大きな努力を払うように求める。その点を強調するため、A B A Cは今回の会合に伴って開催された、SMEサミットにおける電子商取引トレーニング・プログラムの共同スポンサーとなったが、そのプログラムにはパプアニューギニアのMSMEセクターから700名を超える参加があった。

A B A Cはまた、サービス部門の発展を優先課題としている。サービス部門は、A P E Cの雇用の46%、産出額の70%を占めるとともに、MSMEの意義ある参画を可能とする、唯一最大の貢献部門である。ビジネスリーダーたちは、サービス部門の発展に貢献する、より一貫性があり、透明性が高く、効果的な規制環境への道を開くA P E Cイニシアティブへの強力な支援を、貿易担当大臣に対して申し出る。

A B A Cメンバーは、そのすべてが持続的な質の高い成長の基礎となる、外国直接投資の促進、食料安全保障の強化、強固で深みのあるコネクティビティの実現、法の支配の支持等の詳細な提案を、今後関係大臣に対して行っていく。

本会合では、パプアニューギニアのジェームズ・マラペ財務大臣が開会の辞を述べられた。マラペ大臣は、パプアニューギニアの経済見通しの概要を示し、同国が2018年にA P E Cの議長国を引き受ける準備を進める中で、政府としてA P E Cを支援するという約束を強調された。